

IV. 平成27年度後期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	簿記論特殊問題 (Accounting in Activities)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	山田 恵一		
開 講	岸和田サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回 10月3日(土) 10:00-13:00		
	第2回 10月10日(土) 10:00-13:00		
	第3回 10月17日(土) 10:00-13:00		
	第4回 10月31日(土) 10:00-13:00		
	第5回 11月14日(土) 10:00-13:00		
	第6回 11月21日(土) 10:00-13:00		
	第7回 12月5日(土) 10:00-13:00		
	第8回 12月12日(土) 10:00-13:00		

【授業の概要】

財務会計に関する理論を計算問題を通じて分かりやすく教えることを目的としています。

教科書に書いていない理論的な部分は主に板書と板書ノートで対応します。授業中は質問します(質問に答えられなくても減点はしません)。また、蛍光ペンで大事な箇所を色分けしながら授業を進めます(7色の蛍光ペンを毎回の授業に持ってきてください。次のように色分けします。ピンク：超重要、水色：定義、黄色：～の場合、緑：重要、オレンジ：理由・目的、紫：具体例、茶色：会計基準・法律の条文・財務諸表における表示箇所)。

毎週、授業で習った範囲について問題集の問題をレポートとして課します。問題集以外にもレポートを随時課します。試験はレポートと同じ問題で出題するので、どの問題が出されてもいつでも解けるようにしておいてください(忘れる前に復習することが大事です。また、同じ問題を3回解かないと頭に入らないと思います。)

単なる暗記ではなく、どうしてそういう会計処理をするのか等を皆さんに伝え、考えさせる講義をしたいと思っています。学習範囲が広いので、授業の進度は早いです。

【授業計画】

以下の項目について講義と演習を行います。テキストには日商簿記検定1級のものを用品ますが、税理士試験の簿記論、財務諸表論の内容も扱い、教科書に書いていない部分は板書と板書ノートで対応します。

学生の理解度を重視するなどの理由により授業が計画通りに進まないことがあります。

回	内 容	回	内 容
1	減損会計 1	9	リース会計 4：貸手の立場からのリース取引など
2	減損会計 2	10	資産除去債務 1
3	減損会計 3	11	資産除去債務 2
4	負債会計 1	12	退職給付会計 1
5	負債会計 2	13	退職給付会計 2
6	リース会計 1：一般リース	14	純資産会計 1
7	リース会計 2：セール・アンド・リースバック取引	15	純資産会計 2
8	リース会計 3：残価保証型リース取引など		

【教科書】

「日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 商業簿記・会計学 基礎編1」、ネットスクール出版、定価：2,160円(税込)、ISBN：978-4-7810-3149-1

【参考書】

以下は問題集です。授業に持ってくる必要はありませんが、この問題集がレポートとなるので、必ず購入する必要があります。

「日商簿記1級に合格するための学校 [問題集] 商業簿記・会計学 基礎編1」、ネットスクール出版、定価：1,944円(税込)、ISBN：978-4-7810-3150-7

【到達目標】

1. 修士論文のテーマを適切に選ぶことができるようになる。
2. 会計学の基礎理論、技法、手続きなどを問題演習も利用して理解する。
3. 日商簿記検定1級および税理士試験、簿記論・財務諸表論の論点を押さえる。

【成績評価方法】

内容が非常に高度なので、試験では、レポートと同じ問題を網羅的に出題します。問題量に応じて満点が100点から150点となる試験を実施します。期末試験及びレポート点の合計が80点以上は、評価Aとし、70点以上80点未満は評価Bとし、60点以上70点未満は評価Cとします。60点未満には単位を与えません。

レポートは期末試験の得点に加算します。再試験は実施しません。出席点はありません。なお、欠席が全体の1/3以上の学生には単位を与えず、原則、その後の聴講を認めません。

【履修上の注意・メッセージ】

第1回目の授業に、教科書を準備して必ず持ってきてください。授業は全出席が大前提であり、一度でも休むとその後の授業が分からなくなるので、絶対に休まないようにしてください。なお、始業時点で着席していなければ欠席となります。レポートは、授業の最初に集め、その時点で提出しなければ一切受け取りません。レポートには表紙を必ず付けてホチキスで留めてください。表紙には、科目名、提出日時、レポート範囲、学籍番号、氏名を明記してください。私語、携帯電話の使用、居眠り、ひじをつく、あくびは一切許しません。遅刻者、欠席者にはプリントを配布しません。質問は授業の後に申し出てください。

【履修する上で必要な事項】

日商簿記検定2級程度の学力があるか心配な学生は、次回の授業に該当する部分を、以下の教科書と問題集を使って予習しておいてください。

書名：日商簿記2級とおるテキスト 商業簿記 著者名：桑原 知之 出版社：ネットスクール出版

書名：日商簿記2級とおるゼミ 商業簿記 著者名：桑原 知之 出版社：ネットスクール出版

【授業時間外学習について】

毎回、授業で学習した範囲について問題集の問題をレポートとして課します。授業中にレポートの指示が無くても必ず毎回レポートを提出してください。

問題文をレポート用紙に書き写す必要はありません。レポート用紙に問題を解いて、採点したものをレポートとして提出してください。また、問題集の解答用紙をコピーして、それに問題を解き、採点したものをレポートとして提出しても構いません。